

氏名	河 島 昌 典
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 2250号
学位授与の日付	平成13年3月31日
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学(三)専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	Levels of Interleukin-18 and Its Binding Inhibitors in the Blood Circulation of Patients with Adult-Onset Still's Disease (成人スティル病患者血清中のインターロイキン-18とその結合阻害因子の発現)
論文審査委員	教授 中山 審一 教授 辻 孝夫 教授 谷本 光音

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

組織破壊に関与するサイトカインであるインターロイキン-18(IL-18)の、多様な臓器障害を併発する成人スティル病(ASD)の病態への関与を明らかにするため、患者血清中の IL-18 の発現、および IL-18 の結合阻害因子による制御について検討した。IL-18 は ASD 患者血清では異常高値を呈し、疾患活動性と強い相関を認め、ウエスタンブロット法で、患者血清中の IL-18 は活性型であることが示された。ELISA 法で検出された蛋白濃度と比較して、KG-1 細胞を用いて検出された IL-18 生物活性は予想より低値を示した。CHO-K1/m IL-18R 細胞を用いて IL-18 結合阻害活性を測定したところ、ASD 患者血清は IL-18 濃度と相関する阻害因子を含有することが判明した。しかし阻害因子は過剰に発現した IL-18 を中和するのに不十分であったため制御しきれず、その結果、組織破壊に繋がるものと考えられた。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、成人スティル病(ASD)患者におけるインターロイキン 18 (IL-18) の病態への関与を検討したものである。その結果、IL-18 は ASD 患者血清で異常高値を示し、さらに疾患活動性と強い相関があることを見出した。本知見は、ASD の病因の解明に重要な示唆を与えるものであり、価値ある業績であると認める。よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。